

サプライチェーンの信頼性保証技術

～データの取り扱いに関する適合性検証技術～

概要

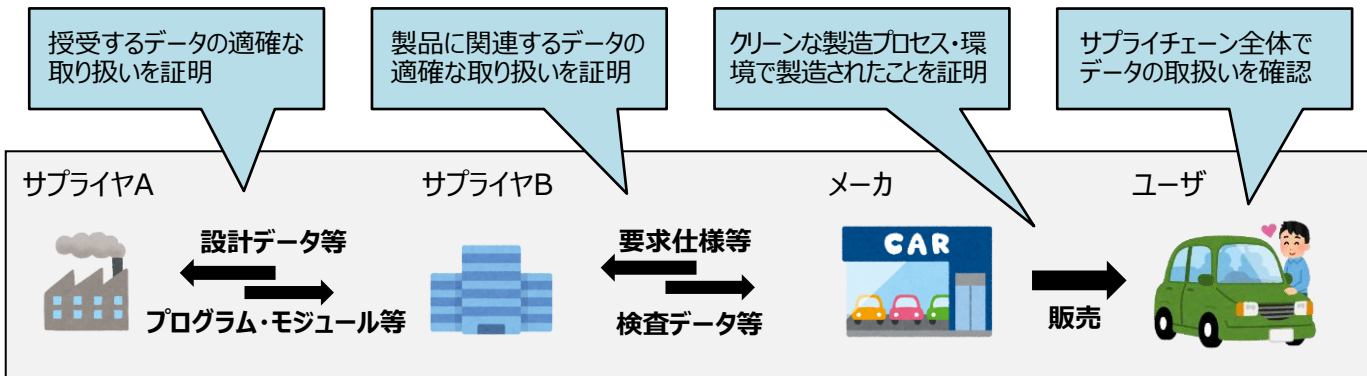
内閣府プロジェクトにおいて、ATRは株式会社KDDI総合研究所と協力し、サプライチェーンでのデータの取り扱いの適合性を検証する技術の研究開発を行っています。検証に必要な処理を自動化し検証作業負担を低減するとともに、サプライチェーン全体にわたるデータの取り扱いの適合性を確認できる仕組みを実現します

特徴

- 検証ルールの生成、デジタルエビデンス (DE) 収集、および検証を自動化する仕組みを構築
 - 様々な要件に対応できる汎用的なプロファイル設計、外部システムと連携したプロファイル生成の自動化
 - セキュアなDE収集モジュールの実装、高速な適合性検証アルゴリズムの開発
- 信頼の起点を確立し、データに関する検証結果を第三者がオンラインで確認できる仕組みを構築
 - 信頼の起点となる堅牢なDE格納システムの構築、機器とDEのセキュアな紐付け管理
 - 状況に応じた開示制御の実現
- サプライチェーン全体における証跡管理・参照および動的な変更通知等の要件を満たす仕組みを構築
 - 本システムに適した証明書の設計、同一性を考慮した検索、ID連携によるサプライチェーン全体での認証と権限管理

今後の展開

- ユースケースの調査及び機能検証
 - エレベータ管理、食品輸出等を想定した実証による機能検証、不足機能の洗い出し



<データの適合性検証プロセス例>

